

# 政策シート

(政策名) 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定

(予算費目名) 中央卸売市場事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
  - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
  - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 世界の一步先を行く産業・サービスの創造

## ◇政策の概要

安全で安心な生鮮食料品等を市民に安定供給するため、時代の要請に対応した市場運営(市場経営展望)及び施設の整備を行っていきます。

## ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	797,867	551,275
決算	755,848	
人件費(A)	76,800	73,400
報酬(B)	307	357
年間経費(予算又は決算+A+B)	832,955	625,032

## ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
市場経営展望を策定する。			目標	策定	工程表の作成
			実績	作成作業完了	6月策定、工程表作成中
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

## ◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

安全で安心な生鮮食料品等を市民に安定供給するため、時代の要請に対応した市場運営(市場経営展望)及び施設の整備を行っていきます。

## ◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

安全で安心な生鮮食料品等を市民に安定供給するため、時代の要請に対応した市場運営を行うために、市場経営展望を策定しました。また、国の第9次施設整備計画に盛り込んでいた、水産低温セリ場を整備いたしました。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	中央卸売市場事業				○	625,032	551,275	7.0	3.0	2.0	3.0	357
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						625,032	551,275	7.0	3.0	2.0	3.0	357

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 中央卸売市場事業

## ◇事業目的・事業対象

安全で安心な生鮮食料品等を市民に安定供給するため、時代の要請に対応した市場運営及び施設の整備を行ってまいります。

## ◇事業の概要

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場の管理運営を行います。平成27年度に策定した「市場経営展望」は、開設者及び市場関係者が一体となり、市場の位置づけや役割、機能強化の方向性、市場施設の整備や運営のあり方等について、経営戦略的視点を持って策定する健全な市場運営のための指針です。今後については、「市場経営展望」に示された効率的な管理・運営を図り、新たな活気ある卸売市場の構築を目指して、工程表を作成し具体的戦略(行動)計画を実施します。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	—	特別会計	自治事務(その他)	卸売市場法・浜松市中央卸売市場業務条例	—	—	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	797,867	551,275
	決算	755,848	
	国・県支出		
	市債		
	その他	386,640	188,209
	一般財源	369,208	363,066
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)		307	357
人件費(千円)		76,800	73,400
人工	正規	8.0	7.0
	再任用(h31)	2.0	3.0
	再任用(h26)	2.0	2.0
	非常勤	3.0	3.0

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
市場経営展望を策定する。					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	策定	工程表の作成			
実績値	作成作業完了	6月策定、工程表作成中			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
01 02 10 02 01731000

(担当課)  
中央卸売市場

(責任者)  
山本 和美

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場の管理運営を行います。また、今後の市場運営を検討すべき平成27年度に市場経営展望を策定します。

・事業の成果と課題

指標の達成度

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により市場の円滑な管理運営を行いました。また、今後の市場運営を検討すべく、浜松市中央卸売市場経営展望策定委員会で、今後の市場運営の指針となる市場経営展望を策定いたしました。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理及び施設整備を行い適切な管理運営を実施した。
- ・市場運営の指針となる「経営展望」を策定した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・生鮮食料品流通の拠点として、適切な施設の維持管理及び施設整備を継続し管理運営を進めていく。
- ・「経営展望」に基づき、市場改革に向けて市場関係者と調整し、実施可能な項目から進めていく。

・事業の分類

大分類

細分類

# 政策シート

(政策名) 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定  
(予算費目名) と畜場・市場事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
  - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
  - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

### ◇政策の概要

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安心・安全な食の充実を実現する。

### ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	268,744	269,516
決算	245,931	
人件費(A)	37,600	38,600
報酬(B)	283	305
年間経費(予算又は決算+A+B)	283,814	308,421

### ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
市場取扱高(千円)	千円	5,000,000	目標	5,000,000	5,000,000
			実績	6,147,524	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

### ◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安心・安全な食の充実を実現する。

### ◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安心・安全な食の充実を実現した。

#### 課題

機械設備の老朽化により食肉の品質低下にならないよう必要に応じて修繕工事を行う。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	と畜場・市場事業				○	308,421	269,516	5.0	1.0			305
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						308,421	269,516	5.0	1.0			305

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) と畜場・市場事業

## ◇事業目的・事業対象

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安心・安全な食の充実を実現する。

## ◇事業の概要

総務費  
**【と畜】** 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させる。  
**【セリ】** 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督する。  
**【品質管理】** 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給していく。  
**【トレーサビリティ】** 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行う。  
 公債費  
 設備投資による借入れの返済  
 予備費  
 存置予算

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和28年度	-	特別会計	自治事務(その他)	と畜場法・卸売市場法・浜松市と畜場条例・浜松市地方卸売市場業務条例	-		○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	268,744	269,516
	決算	245,931	
	国・県支出		
	市債		
	その他	5,568	4,423
	一般財源	139,879	140,641
一般会計繰入金		100,484	124,452
人件費(報酬等)(千円)		283	305
人件費(千円)		37,600	38,600
人工	正規	5.0	5.0
	再任用(h31)		1.0
	再任用(h26)	1.0	
	非常勤		

## ◇事業の指標 (H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
市場取扱高(千円)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	5,000,000	5,000,000			
実績値	6,147,524				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
01 02 10 03 01735000

(担当課)  
食肉地方卸売市場

(責任者)  
袴田 克弥

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

## ◇平成27年度の事業評価

### ・平成27年度の事業の概要

総務費

【と畜】 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させる。

【セリ】 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督する。

【品質管理】 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給していく。

【トレーサビリティ】 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行う。

公債費

設備投資による借入れの返済

予備費

存置予算

### ・事業の成果と課題

指標の達成度

総務費

【と畜】 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させた。

【セリ】 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督した結果、守られた。

【品質管理】 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給してした。

【トレーサビリティ】 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行った。

課題

機械設備の老朽化により食肉の品質低下にならないよう必要に応じて修繕工事を行う。

### ・事業の改善と見直し

実施結果

大項目

小項目

/

事業費

人工

今後の方向性

大項目

小項目

/

事業費

人工

### ・事業の分類

大分類

細分類